事業所名　児童発達支援　はぴにこ

# 支援プログラム

作成日　2025 年　4 月　1 日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | | 安心・安全・信頼・笑顔 | | |
| 支援方針 | | 日常生活における身の回りの行動(身辺自立)や集団生活におけるルールを学び一人一人の成長をサポートする | | |
| 営業時間 | | 9 時 30 分から 17 時 30 分まで | 送迎実施の有無 | あり（○）　なし |
| | | 支 援 内 容 | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・日常生活動作及び手段的日常生活動作の獲得<br>・健康的な生活リズム（睡眠、食事、排泄、身だしなみの整え方の維持・改善）を身に着けるサポート<br>・定期的な心身の把握（毎日の観察・面談、個別活動）<br>・危機認知スキルの向上(疑似体験・映像・SST)<br>・食育(自社菜園によるプチ農業体験・おやつ作り) | | |
| | 運動・感覚 | ・感覚の特性への対応(五感や固有覚、前庭覚を意識した運動や制作）<br>・姿勢や運動、基本的、職員による集団・個別療育（サーキット、ビジョントレーニング、リトミック等） | | |
| | 認知・行動 | ・こだわりや偏食に対応する支援<br>・「見通しが立つ」「理解ができる」「選べる」「比較できる」といった考える力や気持ちの整理を支援<br>・グループでの活動や遊びの中で、認知の偏りに対応しながら適切な行動を習得する | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・挨拶や場面に合った言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得<br>・絵カードや写真で伝えたいことなどの選択を支援(PECS）<br>・コミュニケーション手段の活用(SST・発表する機会の提供・ロールプレイ) | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・グループ・集団での遊びやゲームを通して人との関わり方やルールを学ぶ（順番を守る、片づけをする等）<br>・社会体験や地域交流の場を設ける（地域イベント等）<br>・自己理解、他者理解への支援(SST・社会体験・個別療育) | | |
| 家族支援 | | ・指導後のフィードバックや保護者面談、通じてお子さまの発達状況や支援のニーズの確認<br>・外部講師による講演会等の実施<br>・お子さまとの関わり、兄弟に関すること等の様々な悩みや不安に寄り添い、相談や助言を行う<br>・家庭でできる支援方法（声掛け、接し方）の提案 | 移行支援 | ・幼児期から就学（小学校）へのスムーズな移行をサポート<br>・学童クラブ等との交流、地域交流の機会を提供することで、集団への参加・適応する力を養う<br>・お子さま、家族の心理的不安の軽減 |
| 地域支援・地域連携 | | ・相談支援事業所や障がい福祉サービス事業所との連携<br>・こども園・保育園・幼稚園・障がい児通所施設や併用利用先との情報共有 | 職員の質の向上 | ・定期的な会議を行い、療育や活動などについて確認をする<br>・職員の各種勉強会や研修への参加 |
| 主な行事等 | | ・季節の行事(お花見・こどもの日・虫歯予防デイ・七夕祭り・夏祭り・お月見・ハロウィン・クリスマス・初詣・節分・ひな祭り)・季節の制作<br>・長期休暇には外部講師による、制作やレクレーションの実施<br>・地域イベント等への交流 | | |